

人事委員会議事録（第1635回）

1 開催日時

令和2年6月23日（火）15：00～16：00

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	岡野揮代美	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1634回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

採用選考並びに職務の級及び号給決定の件

給与課長が、知事から請求のあった採用選考（発令予定令和2年7月1日）並びに職務の級及び号給について説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員からの質問）

「技監」は、国からの派遣ポストという位置づけか。

（事務局）

現技監も国土交通省の職員を採用している。技監は国との調整等が必要なポストであり、採用候補者は国の経験による貢献が期待できる。

（事務局）

他府県においては土木部長などに国土交通省の職員を採用しているケースも多いが、技術面の統括という意味で、本県ではその上のクラスである技監として採用している。

第3号議案

職種別民間給与実態調査（令和2年）要綱決定の件

給与課長が、標記要綱について内容等を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員からの質問)

民間の場合、新型コロナウイルスの影響を受けて、4月から6月にかけて、管理職は手当のカットをしているケースがあり、下期には、そのカットが回復する可能性もある。そういった場合でも4月分の給与を比較するのか。

(事務局)

毎年、人事院及び各人事委員会が共同で実施している民間給与実態調査は、調査方法も全国共通で、例年4月分の給与を調査して職員給与と比較しており、本年も同様である。

(委員からの意見)

新型コロナウイルス対策に従事している県職員が長時間残業をしているとの報道もあり、4月分給与の比較により職員給与が引下げとなれば、気の毒に思うところもある。

(委員からの意見)

付帯調査票の設問に、「具体の対象要件」とあるが、「具体の」という表現は一般的ではなく分かりにくいのではないかと。

(事務局)

「具体の」という文言は削除する。

報告事項 1

県民の信頼確保と厳正な規律の保持

任用課長が、標記通知について報告した。

(委員からの質問)

知事部局以外の任命権者における同種の通知においても、新型コロナウイルス感染対策について触れるのか。

(事務局)

教育委員会は通知を作成中で、触れる予定である。

(委員からの質問)

労働施策総合推進法等の改正を受けて、人事院はパワーハラスメント防止指針を策定しており、本県でも策定する必要があると思うが、本通知とは別に策定されるのか。

(事務局)

教育委員会は別途策定済みであり、知事部局も策定する予定である。

閉 会